

委 7-1

第6回 宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨（案）

1. 日 時 昭和57年5月26日（水）
午後2時～3時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 昭和56年度8～9月期における人工衛星、人工衛星打上げ用ロケット等の打上げ結果の評価について
4. 資 料
 - 委6-1 第5回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 - 委6-2 昭和56年度8～9月期における人工衛星、人工衛星打上げ用ロケット等の打上げ結果の評価について（報告）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	吉 識 雅 夫
“ 委員	斎 藤 成 文
“ “	井 上 啓次郎
“ “	大 塚 茂
説明者	
宇宙開発委員会第四部会長	佐 貫 亦 男
関係省庁職員等	
科学技術庁研究調整局長	加 藤 泰 丸
“ 長官官房審議官	辻 栄 一
通商産業省機械情報産業局次長	石 井 賢 吾
	（代理：古市）

運輸大臣官房審議官

運輸省気象庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

宇宙開発事業団システム計画部計画課

“ 衛星設計第2グループ総括開発部員

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

“ “ 宇宙国際課長

“ “ 宇宙開発課長

小 林 哲 一

（代理：千田）

栗 山 昌 久

（代理：里見）

高 橋 幸 男

（代理：木原）

向 井 正

市 川 洋

吉 村 晴 光

中津川 英 雄

吉 野 隆 治

他

6. 議 事

(1) 前回議事要旨の確認

第5回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨案（資料委6-1）が確認された。

(2) 昭和56年度8～9月期における人工衛星、人工衛星打上げ用ロケット等の打上げ結果の評価について

佐貫亦男第四部会長より、資料委6-2に基づき以下の説明が行われ、質疑応答ののち第四部会報告書が了承された。

佐貫：静止気象衛星2号（GMS-2）のSバンド広帯域送信機は、主系、冗長系とも、打上げ後比較的早い時期に不具合を起こした。特に冗長系は既に高出力モードでの運用が困難な状態にある。

現在は、主系を用いて運用され、衛星の機能が確保されているが、主系の不具合が進展しないという保証はなく、従って、

高出力モードでの運用ができなくなる惧れは否定できない。ただし、この場合でも低出力モードでの運用を行うことができるので実質的には大きな支障はないと考えられる。

以上の状況に鑑み、報告書では「これまでのところ、所期の目的は達成されていると考えられる。」とした。